

2022年11月 (株)三越伊勢丹ホールディングス 国内百貨店事業 売上速報



三越伊勢丹ホールディングス

2022年12月1日

■2021年4月から収益認識基準の適用がスタートいたしました。売上速報・売上確報で開示する国内百貨店事業の売上につきましては従来の総売上高で開示いたします。

国内百貨店事業 売上

(株)三越伊勢丹 店舗	前年比	4-11月累計
伊勢丹新宿本店 店頭	121.4%	137.4%
三越日本橋本店 店頭	107.6%	125.0%
三越銀座店	125.0%	137.5%
伊勢丹立川店	95.2%	111.3%
伊勢丹浦和店	106.2%	106.7%



	前年比	4-11月累計
(株)三越伊勢丹 計 ①	115.2%	130.1%

グループ百貨店事業会社	前年比	4-11月累計
札幌丸井三越	104.6%	117.9%
函館丸井今井	95.2%	102.5%
仙台三越	92.0%	105.2%
新潟三越伊勢丹	97.5%	104.2%
静岡伊勢丹	98.3%	104.6%
名古屋三越	101.5%	103.0%
広島三越	95.6%	103.1%
高松三越	97.2%	105.5%
松山三越	84.7%	109.1%
岩田屋三越	105.0%	115.7%

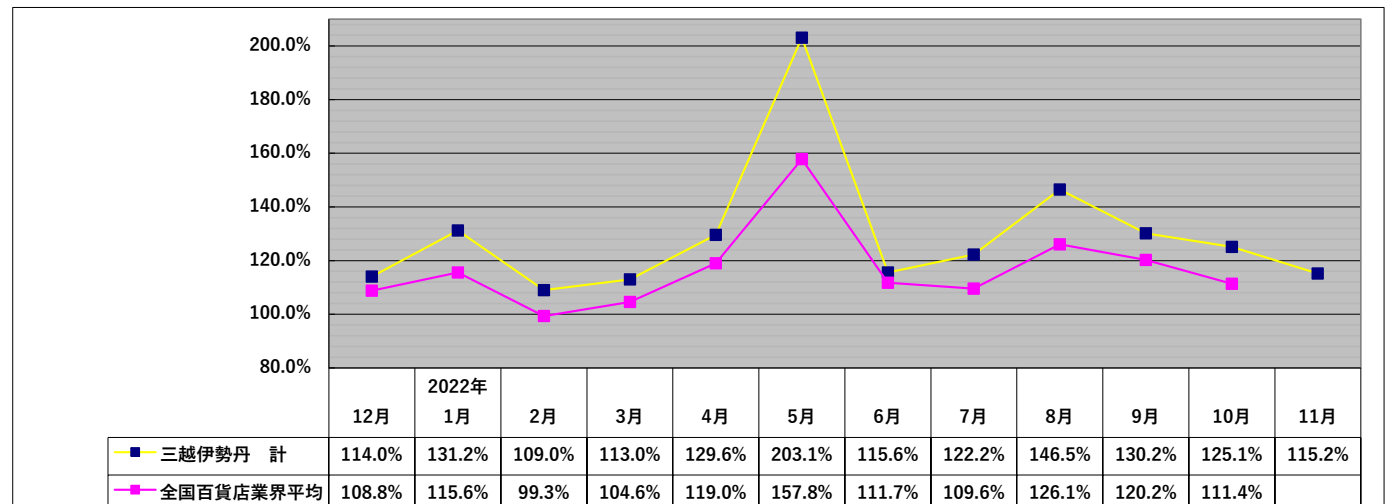


	前年比	4-11月累計
国内グループ百貨店 計 ②	100.7%	109.6%

	前年比	4-11月累計
国内百貨店 計 (①+②)	109.4%	121.4%

過去1年間の月別売上高（前年比）推移 [三越伊勢丹・全国百貨店業界平均]

※数字は速報値です。三越伊勢丹計は既存店計の実績です。



概況

- 好調な高額品消費が継続したことに加え、免税売上の増加により、首都圏三越伊勢丹を中心に売上を牽引し、売上前年比は(株)三越伊勢丹計で115.2%、国内百貨店計で109.4%であった。伊勢丹新宿本店は2022年4月以降、8ヵ月連続で2018年を上回る実績で推移をしている。
- 伊勢丹新宿本店・三越日本橋本店では、ラグジュアリーブランド等の高付加価値な商品の購買意欲が引き続き高く、宝飾、時計、ハンドバッグなどが好調を維持。また、伊勢丹新宿本店では、婦人のコート・ジャケットなどの重衣料の購買も伸長したほか、独自性の高いイベントが売上を支えた。
- 免税売上は10月の入国制限の緩和以降、首都圏店舗を中心に回復傾向を見せ、ラグジュアリーブランドの衣料品、宝飾、時計、ハンドバッグを中心に好調で、伊勢丹新宿本店・三越日本橋本店では2018年実績を上回った。

お問い合わせ

【三越伊勢丹ホールディングス 広報担当】 TEL：050-1704-0684 ※7月26日より変更いたしました。
 【三越伊勢丹ホールディングス IR担当】 TEL：090-8593-0515 / 080-7577-7640 / 090-8593-0298